

## 総論

今回の番発は 70 代にとっては初めて自分たちで運営し、71 代にとっては初めての経験であったがいかがだっただろうか。人それぞれあると思うが、番発を始める前に僕が言っていた楽しくニコニコやっていきたいという目標は叶えられたのでしょうか？  
もしそのような気持ちにみんなが少しでもなってくれていたら嬉しいです。

僕の色紙にこう書いてありました「お前のやりたい委員長、番発ができたならそれが一番」この言葉をみて思いました。みんなは自分の思う MC だったり、パート員の仕事だったり、パ長、色々とあると思いますが、それができましたか？できたならそれが本当に一番だと僕は思います。たかがサークルされどサークル。本当に大変なことがあったり、時にふざけたり、でも全部本気で過ごした時間、このメンバーで最後まで駆け抜けたこの番発は人生の中ではちっぽけなものかもしれないけど、絶対にかけがえのないもので今後、一生輝いたものであり続けると僕は信じています。番発が終わってから、リアクションペーパーを読んでいると「脚本が感動した」「企画が面白かった」「MC の演技がすごかった」「会場装飾が素敵だった」「面白い作品があった」こういう感じの意見ばっかりです。このリアペを読んだ時に一緒に仕事をしていた人たちやっぱすげえわって思いました。間違いなく俺だけの力だけではこの番発は作り上げることは絶対にできませんでした。こんなにも多くの人を感動させることのできるパ長とパート員達を心から誇りに思います。こんな人たちと一緒に番発を作り上げることができて本当に僕は幸せ者だなと思います。

71 代の皆さん 70 代の番発を見て何らかの指針のようなものが見えたかなって思います。番発とは代ごとに色変わりするものだと僕は思っています。君たちの色を存分に表現した番発を次はやってください！僕たち 70 代は何か求められればすぐに駆けつけます。頼りないかもしれないけど、ぜひ頼ってください。君たちの番発を心から期待してるよ！

最後に、本当にみんなにすごいものを見してもらいました。感動した。心からありがとう。  
やっぱお前ら最高だわ。

文責 小橋 哉太